

令和3年度 臨床研究テーマ成果報告書

| |
|--|
| 診療科（部）名： 口腔補綴科 |
| 第3期中期目標・中期計画期間中の臨床研究テーマについて該当するものにチェックを入れてください。（塗りつぶし可） <input checked="" type="checkbox"/> 1. 口腔領域における新規組織再生・再建法の開発 <input type="checkbox"/> 2. 高齢者の特性に配慮した口腔疾患の予防法・診断法・治療法の開発 <input type="checkbox"/> 3. 顎口腔機能の維持増進に関する研究 <input type="checkbox"/> 4. 歯科医学臨床教育の質保証に関する研究 <input type="checkbox"/> 5. その他 |
| 研究期間：2016年4月1日～2022年3月30日 |
| 研究課題名： 大臼歯 CAD/CAM レジン冠（保険適応）の後向き予後調査 |
| 研究課題の概要及び成果： <p>Computer-aided design / Computer-aided manufacturing（以下 CAD/CAM）の技術が進歩し、わが国では 2014 年より高度に重合したレジンブロックから製作される CAD/CAM レジン冠が保険導入された。これにより審美性が高く、かつ高強度のメタルフリー歯冠修復が広く普及することとなった。先に保険適応された小臼歯に対する CAD/CAM レジン冠については、装着直後における冠脱離が他の歯冠補綴装置と比較して多いことが報告されている。この CAD/CAM レジン冠は、2017 年より大臼歯部においても保険適応となったが、大臼歯 CAD/CAM レジン冠の予後に関する報告は十分とは言い難く、詳細な臨床研究結果は報告されていないのが現状である。</p> <p>本研究では、大阪大学歯学部附属病院口腔補綴科にて装着された大臼歯 CAD/CAM レジン冠の臨床経過を後ろ向きに調査した。さらに、記録されている三次元デジタルデータを活用し、冠、および支台歯の形態的要因が大臼歯 CAD/CAM レジン冠のトラブルに及ぼす影響を統計学的に解析した。調査期間内に CAD/CAM レジン冠が装着された患者は 101 名（男性 8 名、女性 93 名、平均年齢 49.8 ± 12.1 歳）、117 装置であった。約 16.7% にトラブルが認められ、主なトラブルは脱離であった。また、CAD/CAM レジン冠の臨床において現在推奨されている支台歯形成量は過多であり、このことが冠の脱離に影響を及ぼしている可能性に関する少なくする必要があるという新たな知見が得られた。今後、本研究で得られた知見を英語論文で発表する。</p> |
| 上記概要・成果に関連する図表等： 特記事項なし |
| 当該臨床研究が「口の難病プロジェクト」に関連しているか否か下記の BOX のいずれかにチェックを付してください。（塗りつぶし可） <input type="checkbox"/> 関連がある <input checked="" type="checkbox"/> 関連はない |